

コロナ終息を願って令和4年度をスタートしました

コロナ感染状況を見極め、4/9第1回理事会、4/23予算審議会を開催。5/28総会については大人数(45人~60人)の参加が予想され3密が避けられず、書面開催にしました。6/11 第2回理事会を開催し、バスハイク(高齢者対象事業)の10月実施予定。第4期上谷本地区福祉保健計画(青葉かがやく生き生きプラン)マスタープラン決定。福祉啓発研修会を開催。県立あおば支援学校 山本先生にお越しいただき講演会を開催しました。

コロナ禍ではありますが、感染対策をし、知恵をしぼり工夫をして、地域福祉推進に向けた活動を展開し、地域の皆さんに「上谷本に住んで良かったね」と思ってもらえるよう努力してまいります。

第4期地域福祉保健計画 (区民・事業者・行政の協働による福祉保健のまちづくり)

5年後にめざしたいまちの姿

誰もが参加できる活動・居場所が充実し、つながりが深いまち

★多世代間や障がい者との

交流を通してつながりの
大切さを理解しあおう!
お互いに見守り
支えあおう!



★防災、減災、防犯意識を高め

安心、安全なまちづくりに努めよう!



上谷本地区
青葉かがやく
生き生きプラン
(令和3年度~令和7年度)



★誰でも地域情報を共有できるよう

分かりやすく発信しよう!



賛助会費のお願い

上谷本地区社協の福祉活動は皆様の善意に支えられて運営しています

個人一口.....1,000円

法人一口.....5,000円

お申込は もえぎ野町内会 杉浦 (☎973-1728) 柿の木台町内会 梅木 (☎972-7475)
みたけ台町内会 岩満 (☎974-5715) 各地区民生委員までお声かけください。

講師 県立あおば支援学校
連携支援総括教諭
山本順子氏

“思いを紡ぐ 優しいあおば”

—地域と共に学校づくり—県立あおば支援学校—

あおば支援学校は、中里学園の跡地に3年前開校。コロナによる臨時休校もあり、今年度から本格的に始動となりました。小中学校が併設され、肢体不自由児、知的障がい児188名が通学しています。

学校の理念は「思いを紡ぐ 優しいあおば」。特に子どもの成長と共に“地域とともに歩み、地域に貢献する”、共生社会の実施を目指すことをミッションとして掲げています。

近隣の小中学校とは作品の交流、市ヶ尾高校とはダンスを一緒に、又スポーツフェスタには日体大の学生が関わっています。地域施設との交流としてケアプラザの利用、フィリアホールで座席の清掃などの協働授業を通して接客の学習をし、それを文化祭に生かしています。近隣の田んぼやふるさと村での農作業と積極的に地域に出向いています。



福祉啓発研修会



県立あおば支援学校

地区社協のボランティア会も開校時より朝の登校時に通学路の見守り、花の水やりなど続けていますが、その他、様々な人がボランティアとして関わっています。これからも、地域の中にある学校として“子どもたちと共に学び、共に楽しみ、共に喜び”ながら関わっていけたらと思います。(文責 桧垣萌美)

上谷本ふれあい食事会

皆様の明るい笑顔に会えました

(地区社協助成団体)

5月13日ふれあいサロンは22名の参加を頂きケアプラザで開催いたしました。コロナ禍での過ごし方やボールを使ったストレッチなど盛り沢山の内容でした。

6月には地区別食事会も各地区工夫をこらして開催いたしました。今後とも、お誘いあわせの上お出かけください。

内田明子



6月18日みたけ台



6月10日 柿の木台



6月10日 もえぎ野

柿の木台番地の会

第3回「青空サロン」

(地区社協助成団体)

「自分の周りにどんな人が住んでいるのだろうか？」との素朴な疑問から始まったのが「番地の会」で、柿の木台19番地からスタートし、もう6年になります。

「青空サロン」はこの番地の会が発展した地域のコミュニケーションを図る集まりです。今回の「青空サロン」は5月28日(土)。町内会、もえぎ野地域ケアプラザ、民生委員、スポーツ推進委員が主体になり第一公園で開催されました。大人から子どもまで80人の参加がありました。内容は、地域で活躍中の団体の紹介、「モルック」(子どもたちに大人気でした)の体験、絵本の読み聞かせ等で、手作りのケーキと紅茶をいただきながら楽しい2時間でした。

吉田敬雄



手作り看板「青空サロン」



地域活動団体の紹介



モルックの体験